

< 気になるよそ様の数値 2年後の今 >

今回は安定性の指標です。図1は自己資本比率(X7)の分布図、図2は有利子負債月商倍率(X8)の分布図、図3は純支払利息比率(X9)の分布図です。なお、2000年11月のデータは195,842社、2002年9月のデータは218,005社とデータ数が違うので、分布図は全体に占める割合で表しています。

安定性の指標のよしあしは、Y点の点数に大きく影響します(勝ち方の研究2002.6号~2002.8号)。自己資本を一気に増やして安定経営を目指したいところですが、自己資本はそう簡単には増えません。むしろ長引く不況の中で後退を余儀なくされています。安定性の指標の平均値を見ても、下記のように、純支払利息比率(X9)を除き、悪化しています。

	2000年11月	2002年9月
自己資本比率(X7)	27.290%	27.157%
有利子負債月商倍率(X8)	3.704	3.829
純支払利息比率(X9)	0.797%	0.787%

このことはグラフにも表れています。下限値の企業数の割合は、X7では7.48%から9.41%に、X8は9.01%から10.28%に、X9は6.08%から6.23%にそれぞれ増えています。また、自己資本比率(X7)では0付近の会社数が増えています。収益性の比率同様、債務超過の会社になりたくないという気持ちが出ています。

全体的には優良企業数の割合が減少していますが、上限値の企業数の割合は若干増えています。X7では12.96%から14.69%に、X8は14.97%から15.97%(集計上の都合で0.180以下の会社数)に、X9は17.55%から18.87%にそれぞれ増加しています。これらの会社は、自己資本が大きく増えているというより総資本を圧縮して達成しているのではないかと推察しています。

建設会社の中には、グループ会社の必要資金を肩代わりして借り入れ、グループ会社に貸し付けている会社も散見されます。こうした会社は、見た目の評価が下がっています。本当に必要な資産と負債になっているかもう一度確認してみましょう。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

今月のひとくち MEMO 今回のX7~X9を含めたY評点対策には、「Wisdom2003 経審点数計算システム」のウェイト換算グラフを活用すると、重要度が一目で分かり、より効率的な対策が可能に。ボタンひとつでシミュレーション画面にとぶこともできます。

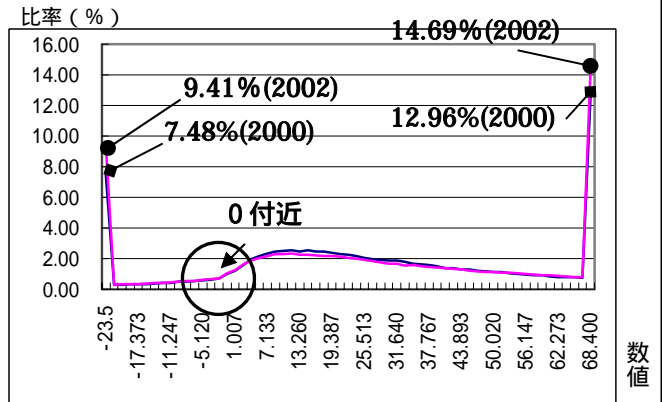


図1 自己資本比率(X7)

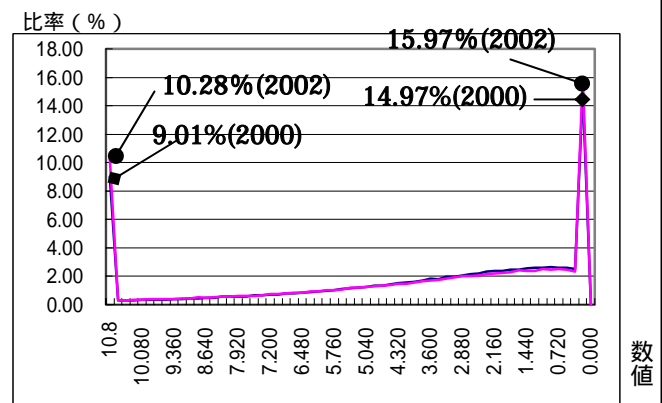


図2 有利子負債月商倍率(X8)

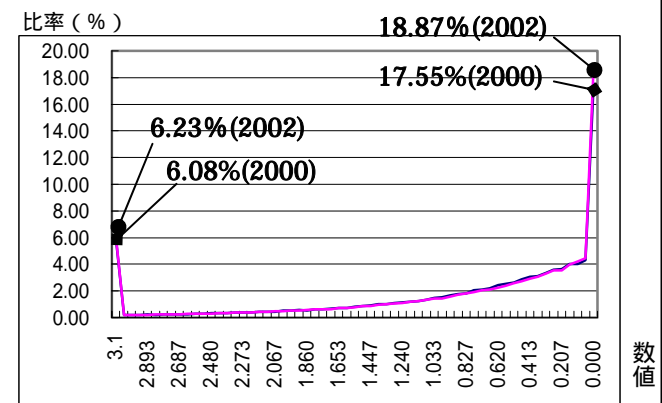


図3 純支払利息比率(X9)

分布図については、ワイズホームページよりダウンロードできます。 <http://www.wise.co.jp/>

完成工事高X1評点の算出方法変更は10月1日申請分より適用、それ以前に申請した会社様も「再審査」となる可能性あり!! Wisdomなら新式、旧式を比較検討できる!

Wisdom 訪問デモ希望(無償)
 Wisdom 資料請求(無償)
 送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
 今後「Wise FAXNET」送信不要
 今後「Wise FAXNET」メール送信に変更希望

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX
今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入ください。	
e-mail	

デモ希望、資料請求、送信先宛名変更、送信停止は、必要事項をご記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745